

## 第 16 回関西建築家大賞 審査講評

審査建築家 芦原太郎

### 第 16 回関西建築家大賞受賞者 魚谷繁礼 氏

#### 審査対象作品 SOWAKA

老舗料亭建築の取り壊しの危機に際して京都市がストップをかけ、民間と連携して宿泊施設としてのリノベーションが行われた。

隣地に RC 造の新館を計画して新旧の建築を融合させ、極めて巧みに魅力的な宿泊機能が創出されている。

建築基準法適用除外とした上で、建築審査会で同等の耐震や防火性能を認めてもらうことや、外国人観光客に向けたラグジュアリーホテルを厳しい条件下に成立させたことは、この建築家の並々ならぬ才能と努力の賜物である。

#### 審査対象作品 コンテナ町家

旧市街に残された長屋と路地といった都市遺構を保全しつつ、長屋を鉄骨フレームで覆いコンテナを挿入することで飲食店併用の事務所建築とする大胆な企画構想は特筆に値する。建築基準法を潜り抜けつつ不動産事業性を獲得して、都市空間としての現代的な価値が創出されている。

京都の街を愛し、都市構造を深く研究したこの建築家ならではの成果であり、建築と街区を調停し、建築を人々の生活に繋いで再構成して行く試みを評価したい。

#### 選考理由

今年度は 13 人の建築家から応募があり、しっかりと作り込まれた建築や魅力的な空間を持つ住宅など、関西建築家の力量を見せて頂けた。

その中でも魚谷繁礼氏は都市構造や伝統的建築を守り育てる京都の街に根ざし、その創造性により建築家の力と建築が持つ社会性を実作により示してくれた点が秀逸であった。

市民、行政、事業主、建築家の連携がうまく機能したことは京都の街の文化があつてこそかもしれないが、その調停者としての建築家が立派に役割を果たしている事には感心させられた。

魚谷繁礼氏は地域に根ざし、社会に貢献する JIA 建築家の目指す姿を体現していると考え、関西建築家大賞を贈る事とした。